

報告1 北九州市スポーツ推進計画の骨子案について

1. ポイント

- (1) 時代の環境変化が激しいことを踏まえ、個別具体的な事業レベルではなく、スポーツ振興が目指す大きな方向性を定め、行政や関係団体、企業や市民とのベクトルを合わせるための計画とする
- (2) 新ビジョンの重点戦略「**稼げるまち**」「**彩りあるまち**」「**安らぐまち**」を踏まえた3つの方針を柱立て
- (3) 3つの方針に沿って、これまでの取り組みも踏まえた施策を進めていくとともに、その中でも「**スポーツで稼げるまちの実現**」の視点を強化する。

2. 骨子案概要

目指す姿	市民誰もが生涯スポーツに親しみ、元気になることで、まちに活力をもたらし、また、スポーツの力で、都市の楽しさや魅力を上げ、外から多様な人を惹きつけることで地域・経済の活性化を促し、豊かで未来輝く市民生活の実現とまちの成長を目指す。		
スローガン	スポーツでACCESS!		
方針	 「方針Ⅰ」 重点方針 スポーツでまちの魅力にACCESS!	 「方針Ⅱ」 いつでもだれもがスポーツにACCESS!	 「方針Ⅲ」 スポーツで未来にACCESS!
考え方	一歩先を見据えた新たなスポーツコンテンツを創出し、都市ブランド力を高め、 スポーツで稼げるまちを実現する	市民のスポーツ活動を推進し、気軽にスポーツに親しめる場を充実させ、 ウェルビーイングを実現する	子どもの個性や可能性をはぐくみ、地域スポーツを支える人材とともに、 まちの活力や魅力を向上させる
関連ワード	<ul style="list-style-type: none"> ● 北九州スポーツコミッション ● スポーツツーリズムの推進 ● アーバンスポーツの普及促進 ● スポーツを通じた集客・にぎわいの創出 ● トップスポーツ・アスリートとの連携・支援 	<ul style="list-style-type: none"> ● 様々な世代のスポーツ機会の創出 ● インクルーシブスポーツの推進 ● ユニバーサルデザイン化 ● 環境にやさしい取り組みの促進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どものスポーツ機会の充実 ● 子育て世代に向けた情報発信 ● 地域スポーツのさらなる活発化 ● スポーツをする人・教える人の拡充
施策	施策1 スポーツを通じた都市ブランド力の向上 ① 観るスポーツの機会充実 ② スポーツによるまちの活性化の推進 ③ 大規模スポーツ大会等の誘致・開催支援 ④ スポーツツーリズムの推進 ⑤ 都市の魅力を高めるスポーツの振興 ⑥ 市ゆかりのトップスポーツチーム・アスリートの応援機運の醸成 ⑦ 興行ニーズに対応した開催環境づくり ⑧ プロスポーツチーム等との連携による地域活性化 ⑨ 戦略的プロモーションにつながる効果的なスポーツの魅力発信	施策2 市民のスポーツ活動の推進 ① 市民のスポーツ活動の参加機会の創出・充実 ② 女性や若者、働く世代のスポーツ機会の創出 ③ スポーツを通じた健康増進 ④ 競技スポーツの支援 ⑤ インクルーシブスポーツ(障害のある人などのスポーツ活動)の推進 施策3 気軽にスポーツに親しめる場の充実 ① スポーツ施設のユニバーサルデザイン化や環境にやさしい取り組みの促進 ② 学校施設の有効活用の促進 ③ 多様なライフスタイルに対応したスポーツ施設の運用 ④ 公園など身近な運動の場の提供 ⑤ 官民連携によるスポーツ環境の創出	施策4 子どものスポーツ活動の推進 ① 学校体育による子どもの体力向上 ② 子どもの個性や可能性を引き出す運動・スポーツ機会の充実 ③ 子育て世代に向けたスポーツ情報発信の充実 施策5 地域スポーツを支える人材の活躍の場の充実 ① スポーツ推進委員・スポーツ指導者の育成・活用及び資質向上 ② 地域スポーツを支える団体(スポ協等)の活動の充実 ③ 大学等との連携による地域スポーツを担う人材の拡充・支援 ④ プロスポーツチームと大学との連携によるスポーツボランティア活動の場づくり

専門調査員の選出について

北九州市スポーツ推進審議会条例第7条に基づき、次期「北九州市スポーツ推進計画」の策定に向けた検討を行うための専門調査員を審議会委員の中から5名選出し、また、有識者(外部)を3名選定し、当課を事務局とした「北九州市スポーツ推進計画策定検討会」を組織する。

■「北九州市スポーツ推進計画」策定検討のための専門調査員(8名)

区分		氏名	所属	選考の視点
スポーツ推進審議会	団体代表	有延 忠剛	北九州市障害者スポーツセンター所長	パラスポーツ、ユニバーサルデザイン
	団体代表	梶山 幹子	北九州市小学校体育連盟	子どもの体力・スポーツ、学校体育
	学識経験者	倉崎 信子	九州栄養福祉大学教授	健康科学、健康心理学
	団体代表	久澄 喜裕	公益財団法人北九州市スポーツ協会事務局長	生涯スポーツ、利用者(スポーツ)団体、指導者育成
	学識経験者	船津 京太郎	九州共立大学教授	発育発達、トレーニング
外部有識者	個人	池元 友樹	北九州市スポーツ大使	元スポーツアスリート
	学識経験者	花内 誠	九州産業大学教授	スポーツビジネス
	学識経験者	松崎 淳	九州共立大学講師	スポーツまちづくり、国際スポーツプロモーション

【北九州市スポーツ推進審議会条例(第7条抜粋)】

(専門調査員) 第7条

審議会に専門事項を調査審議させるため専門調査員を置くことができる。

「北九州市スポーツ推進計画策定検討会」の組織体制

